

12008 Pronunciation I a、b、c Pronunciation I 12008 Speaking I a、b、c		1年次～ 前期 1単位																	
担当者	高橋 教雄／上野 尚美／相原 和恵	履修可能学科	E必																
		関連資格																	
サブタイトル	音声言語による情報伝達の習慣と能力を身につける																		
授業内容 ・ ねらい	<p>言語（英語）の4技能のうち、音声部門に集中して情報伝達の習慣をしっかりと身につけ、その能力を高めることを通して、英語学習全般に資することを目指します。音声言語（発音）を軽んじることなく、その特徴を正確に把握することが、外国語学習において極めて重要であるということを体験してもらいます。（1）英語の発音練習、（2）英語らしいリズムの習得、（3）メッセージを効果的に相手に伝達する習慣と能力の向上を目指します。</p>																		
授業計画	<table border="0"> <tr> <td>1. オリエンテーション：英語の音声の特徴と日本語音声の特徴</td> <td>8. 英語の母音と名言の発音練習（6）</td> </tr> <tr> <td>2. 英語の母音と名言の発音練習（1）</td> <td>9. 英語の母音と名言の発音練習（7）</td> </tr> <tr> <td>3. 英語の母音と名言の発音練習（2）</td> <td>10. Story-telling の練習（2）</td> </tr> <tr> <td>4. 英語の母音と名言の発音練習（3）</td> <td>11. 英語の母音と名言の発音練習（8）</td> </tr> <tr> <td>5. Story-telling の練習（1）</td> <td>12. 英語の母音と名言の発音練習（9）</td> </tr> <tr> <td>6. 英語の母音と名言の発音練習（4）</td> <td>13. 英語の母音と名言の発音練習（10）</td> </tr> <tr> <td>7. 英語の母音と名言の発音練習（5）</td> <td>14. 英語の母音と名言の発音練習（11）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>15. Story-telling の練習（3）とまとめ</td> </tr> </table>			1. オリエンテーション：英語の音声の特徴と日本語音声の特徴	8. 英語の母音と名言の発音練習（6）	2. 英語の母音と名言の発音練習（1）	9. 英語の母音と名言の発音練習（7）	3. 英語の母音と名言の発音練習（2）	10. Story-telling の練習（2）	4. 英語の母音と名言の発音練習（3）	11. 英語の母音と名言の発音練習（8）	5. Story-telling の練習（1）	12. 英語の母音と名言の発音練習（9）	6. 英語の母音と名言の発音練習（4）	13. 英語の母音と名言の発音練習（10）	7. 英語の母音と名言の発音練習（5）	14. 英語の母音と名言の発音練習（11）		15. Story-telling の練習（3）とまとめ
1. オリエンテーション：英語の音声の特徴と日本語音声の特徴	8. 英語の母音と名言の発音練習（6）																		
2. 英語の母音と名言の発音練習（1）	9. 英語の母音と名言の発音練習（7）																		
3. 英語の母音と名言の発音練習（2）	10. Story-telling の練習（2）																		
4. 英語の母音と名言の発音練習（3）	11. 英語の母音と名言の発音練習（8）																		
5. Story-telling の練習（1）	12. 英語の母音と名言の発音練習（9）																		
6. 英語の母音と名言の発音練習（4）	13. 英語の母音と名言の発音練習（10）																		
7. 英語の母音と名言の発音練習（5）	14. 英語の母音と名言の発音練習（11）																		
	15. Story-telling の練習（3）とまとめ																		
教科書 参考書	教）小泉節子著『コミュニケーションへの英語発音練習』（南雲堂） プリント教材																		
評価方法	練習を繰り返すことが中心となる授業ですので、授業参加の積極性と発音実践の結果、および各自の口頭発表 and/or 期末試験の結果を総合して評価します。																		
事前準備学習 履修条件等	音声部門に集中した授業ですので、語句や文の意味については、事前にしっかりと確認しておくことが求められます。クラス担当：a.上野、b.相原、c.高橋																		